

はんしよくき がつ がつ
繁殖期(6月~8月)



したくいけ かんさつ ちようるい 舌喰池で観察される鳥類



えっとうき がつ がつ
越冬期(11月~3月)



ぐんらく こそだ
ハスやヒメガマの群落では、カルガモやバンが子育てをします。

うすつく こそだ
カイツブリは、ヒシで浮き巣を作り、子育てをします。

はんしよくき かんさつ ちようるい みずどり
繁殖期に観察される鳥類

水鳥:カイツブリ カルガモ バン ヨシゴイ
陸鳥:ツバメ

いちねんじゆう かんさつ ちようるい
一年中観察される鳥類

水鳥:カイツブリ カルガモ カワウ
陸鳥:ムクドリ カワラヒワ キジバト ハシブトガラス ハシボソガラス カワセミ



カルガモ (軽鴨)

カモ目 カモ科 マガモ属
英名:Spot-billed duck 学名:*Anas zonorhyncha*
全長:63cm(オス) 53cm(メス) 鳴き声:グェツグェツグェツ

オスもメスも同色ですので、区別ができません。くちばしを水面で、グチャグチャと動かしながら、草の葉・茎・種子などをこし取るように食べます。下半身を水面に出したまま逆立ちをして、水底の植物を食べることもあります。水生昆虫や貝類なども食べます。草むらの浅い窪みに草の葉を敷き詰めて、皿形の巣をメスが作ります。一夫一妻で繁殖をします。ヒナの世話をするのはメスのみ。コロニー状に多数の番が集まって繁殖することもあります。日本では本州以南で繁殖をし、舌喰池でも繁殖しています。留鳥。



バン (鵞)

ツル目 クイナ科 バン属
英名:Common moorhen 学名:*Gallinula chloropus*
全長:32cm 鳴き声:クッキュ クッキュ

オスもメスも同色ですので、区別ができません。赤色のくちばしが目立ちます。水面を泳いだり、水草の上を歩きながら、水草の葉・茎・種子、昆虫・貝・甲殻類、オタマジャクシ・ミズミズなどを食べます。草むら(ヨシ、マコモ、ガマなど)や水田に枯れ草を積み上げて、皿型の巣をオス・メス共同で作ります。基本的に一夫一妻ですが、一夫多妻で繁殖することもあります。同じ種内で托卵(他の番の巣に卵を産み、子育てをしてもらうこと)をすることもあります。日本では北海道から九州にかけて繁殖をし、舌喰池でも繁殖しています。北海道、本州北部では夏鳥、関東地方以南では留鳥。



カイツブリ (鳩)

カイツブリ目 カイツブリ科 カイツブリ属
英名:Little grebe 学名:*Tachybaptus ruficollis*
全長:26cm 鳴き声:キリツキリツキリツ

オスもメスも同色ですので、区別ができません。足指につくひれ状の弁膜で水をかいて潜水し(最長で30秒)、体長5~6cmくらいの魚類(フナやタナゴなど)、甲殻類、昆虫、軟体動物、ヒシの実などを食べます。ヨシ原の中や水面に繁茂する水草の上に水草の葉や茎を集めて、浮き巣をオス・メス共同で作ります。舌喰池ではヒシの葉や茎で浮き巣を作ります。水位変動に備えて、1つの番が5~14個もの補助巣を作ります。一夫一妻で繁殖をします。ヒナは、親鳥の背中に乗ったり、羽毛の間に入って休みます。敵が近づくと、親鳥は背中にヒナを乗せたまま、潜水します。日本では北海道から九州にかけて繁殖をし、舌喰池でも繁殖しています。北海道、本州北部では夏鳥、本州中部以南では留鳥。



カイツブリのヒナ



カイツブリの親子



アオサギ (青鷺)

ペリカン目 サギ科 アオサギ属
英名:Grey heron 学名:*Ardea cinerea*
全長:93cm 鳴き声:クアー、ゴアー

オスもメスも同色ですので、区別ができません。水辺や水の中に入り、じっと立ち止まって待ち伏せしたり、ゆっくり歩いて、昆虫、両生類、甲殻類やネズミなどの小型哺乳類を食べます。エサを見つくと、S字型に曲げた首を瞬間的に伸ばし、くちばしでさき捕ったり、突きさしたりします。大きなブラックバスを呑み込むことも。巣材集めは主にオスがし、メスはオスから受け取った枯れ枝などの巣材で複雑な皿型の大きな巣を、高木の針葉樹や落葉広葉樹の樹上や梢に作ります。一夫一妻で繁殖をします。日本では北海道、本州、四国、対馬で繁殖をします。舌喰池では繁殖していません。留鳥。池干しの時期には、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギが集まって来て、浅瀬や水溜まりで魚類などのエサを捕まえます。力関係は、アオサギ > ダイサギ > チュウサギ > コサギ。



ヒメガマ



ハス

いけぼ 池干しとは:

ため池の水を抜くことを「池干し」と言います。「池干し」は、水質の悪化を防ぐためと、ため池の底に溜まった泥をかき出すために行います。泥が溜まってしまうと、貯水量が減ってしまいます。ため池の底に溜まった泥には養分が多く含まれていたため、畑の肥料に使っていた時代もありました。

タシギ (田鴨)

チドリ目 シギ科 タシギ属
英名:Common snipe 学名:*Gallinago gallinago*
全長:27cm 鳴き声:ジュツジュツ

オスもメスも同色ですので、区別ができません。長いくちばしと離れた目が特徴です。湿っぽいところをゆつくりと用心深く歩きながら、昆虫の幼虫、ミズミ、小型の甲殻類・軟体動物などを食べます。長いくちばしを泥の中に挿し入、上下に動かしながらエサを掘り当てます。地面が乾いている草陰や藪の下などの窪みに、草の破片を敷き詰めて巣を作ります。一夫一妻で繁殖をします。オーストラリア東部、東洋区以外の全世界で繁殖をしますが、日本では繁殖していません。池干しの時期にやって来ます。旅鳥。本州南部以南では冬鳥。



イカルチドリ (斑鳩千鳥)

チドリ目 チドリ科 チドリ属
英名:Long-billed plover 学名:*Charadrius placidus*
全長:21cm 鳴き声:ピオピオ、ピッピッピ

オスもメスもほぼ同色ですので、区別が難しいです。湖沼や河川の水辺の地面や浅い水域で、昆虫(甲虫など)の成虫・幼虫を食べます。雪面で動けなくなったユスリカの成虫を盛んについばみます。磯の間の地面に窪みを作り、種物の破片を敷き詰めて巣をオス・メス共同で作ります。一夫一妻で繁殖をします。日本では本州、四国、九州などで繁殖をします。舌喰池では繁殖していません。池干しの時期にやって来ます。一部が留鳥。



みず た みずどり えっとうち えさ と ぼしよ
水を溜めておくことで、水鳥の越冬地や餌を採る場所となります。

いけ ぞうせい ご いじ かんり みずどり きちよう せいそくち ていきよう
ため池の造成とその後の維持管理が、水鳥に貴重な生息地を提供しています。

えっとうき かんさつ ちようるい みずどり
越冬期に観察される鳥類

水鳥:コガモ カルガモ ハシビロガモ オオバン ミコアイサ ヒドリガモ
ホシハジロ キンクロハジロ マガモ カワアイサ ヨシガモ
オナガガモ カンムリカイツブリ マガン コウノトリ



オス



メス

ミコアイサ (巫女秋沙)

カモ目 カモ科 アイサ属
英名:Smew 学名:*Mergus albellus*
全長:44cm(オス) 39cm(メス) 鳴き声:フィー(オス) クワツクワツ(メス)

オスは全身が白く、顔に特徴のある黒斑があり、バンダのように見えます。メスは褐色系が白色、水中に8~30秒くらい、2mくらいまで潜って、魚類、甲殻類、貝類などを食べます。群れて一斉に潜る習性があります。くちばしは強く、先は鉤形に曲がり、線にはノコギリの歯のようなギザギザがあります。捕らえた魚をしっかりと押える役目をしています。巣は樹洞に作ります。一夫一妻で繁殖をします。ユーラシア大陸の高緯度地方で繁殖をします。冬鳥。



オス



メス

ハシビロガモ (嘴広鴨)

カモ目 カモ科 マガモ属
英名:Common shoveler 学名:*Anas clypeata*
全長:51cm(オス) 44cm(メス) 鳴き声:クワツクワツ(オス) グェグェツ(メス)

オスは頭部が緑色で横の腹部が茶色、メスは全身が褐色です。水中の甲殻類などのプランクトンや植物の破片などの水中浮遊物をこしとって食べます。軟体動物や昆虫、草の種子・果実なども食べます。くちばしや首を水中に入れたり、逆立ちをして上半身を水中に入れたりして、幅広いへら形の特別な形をしたくちばしをグチャグチャと動かしてエサをこしとって食べます。特に、プランクトンの豊富な水域を好むプランクトン・フィーダーです。あまり高くない草むらの中の地面の窪みに、草の葉を敷き詰めて皿型の巣を作ります。一夫一妻で繁殖をします。カモ類の中でも番の結びつきが強い方です。ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の中緯度地方で繁殖をします。冬鳥。



ハシビロガモのエクリパス



ハス

キンクロハジロ (金黒羽白)

カモ目 カモ科 マガモ属
英名:Tufted duck 学名:*Aythya fuligula*
全長:44cm(オス) 38cm(メス) 鳴き声:クワツクワツ(オス) ビュルルル(オス) グェグェツ(メス)

オスは全身が黒く腹部だけが白色、メスは全身が褐色です。オス、メスともに頭部に冠羽を持っています。比較的に深い湖沼に見られ、水中に14~17秒くらい、0.6~3mくらい潜水して、巻貝や二枚貝類、魚類を捕り、水中で呑み込んでしまいます。水草などの植物も食べます。水辺近くの草むらの地面に、草の葉や茎で皿形の巣を作ります。基本的に一夫一妻ですが、一夫二妻で繁殖することもあります。ユーラシア大陸の高緯度地方で繁殖をします。冬鳥。



オス



メス

コガモ (小鴨)

カモ目 カモ科 マガモ属
英名:Common teal 学名:*Anas crecca*
全長:35cm 鳴き声:ピリピリツ(オス) クェツクウェツ(メス)

オスは全身が灰色、頭が茶色で目の周りが暗緑色、メスは全身が褐色です。水面に浮いて、水辺の水草の間でグチャグチャとくちばしを動かして、草の種子・葉・茎などをこしとって食べます。草むらや藪の下の浅い窪みに、草や木の葉を敷き詰めて皿形の巣をメスが作ります。一夫一妻で繁殖をします。ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の中部・北部で繁殖をします。冬鳥。



オス



メス



ヒメガマ



ヨシゴイ



ハス



ヒシ



カイツブリの巣



カイツブリの巣



カイツブリの巣



ヒメガマ



ハス

ため池の底に溜まった泥

